

施策番号	1502		
施策名	地域におけるつながりの構築		
概要	地域福祉の担い手の育成に向けて、できるだけ多くの市民・住民に地域福祉活動への参加の機会を提供するとともに、地域課題の解決に向けた住民主体の取組への支援を推進する。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	15 地域福祉		
施策に係る主な分野別計画等	京（みやこ）・地域福祉推進指針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	区地域福祉推進委員会が実施するシンポジウムの参加者数（人）	b	a	1,964	2,440	1,984	123.0%	a	0.50
2	福祉ボランティアセンター利用登録団体数（団体）	a	a	759	773	759	101.8%	a	0.50
3	区ボランティアセンター相談件数（件）	a	b	3,191	3,741	3,292	113.6%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。	c	c	22 3.6%	155 25.5%	275 45.3%	114 18.8%	41 6.8%	607	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	広く一般の市民の方に地域のボランティア活動に関心を持っていただき、参加しやすい土壌を形成することを施策の目標としているため、市民生活実感調査を重視する。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
・「福祉ボランティアセンター利用登録団体数」は昨年度に比べ増加しており、関係団体や個人におけるボランティア活動は広がっているものの、それらの活動について、広く一般に浸透まではしていないと考えられるため、c評価で推移している。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・関係団体等のボランティア活動の更なる推進を図るとともに、それらの活動について、広く市民に周知することで、ボランティア活動に参加しやすい機運の醸成を図る。

施策名	1502	地域におけるつながりの構築				
指標名	区地域福祉推進委員会が実施するシンポジウムの参加者数（人）					
担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明						
区地域福祉推進委員会が実施するシンポジウムの参加者数						
2 指標の意味						
地域住民の地域福祉への関心の高まりや地域福祉活動の広がりを示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	1,964	2,440	476人増	1,984	過去3年間の平均値	123.0%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去3年間の参加者数) 平成28年度：2,017人 平成29年度：1,972人 平成30年度：1,964人
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
当該指標については民間部門の寄与度が比較的高いことから、過去3年間の数値を基に、平均値以上をaとし、10%ごとに基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
b	a	a				

指標名	福祉ボランティアセンター利用登録団体数（団体）					
担当課	健康長寿企画課	連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明						
地域福祉等のボランティア団体のうち、京都市福祉ボランティアセンターに利用登録している団体の数						
2 指標の意味						
地域住民主体の活動を通じた地域の福祉力の向上を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度
数値	759	773	14団体増	759	過去5年間の最高値（平成30年度）	101.8%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去5年の登録団体数) 平成26年度：719団体 平成27年度：729団体 平成28年度：743団体 平成29年度：757団体 平成30年度：759団体
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満						
6 基準説明						
当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：759団体（平成30年度） 平均値：741団体 最低値：719団体（平成26年度）						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
a	a	a				

施策名	1502	地域におけるつながりの構築				
指標名	区ボランティアセンター相談件数（件）					
担当課	健康長寿企画課		連絡先	7 4 6－7 7 1 3		
1 指標の説明						
各区にある区ボランティアセンターの相談対応件数						
2 指標の意味						
地域住民主体の活動を通じた地域の福祉力の向上を示す指標			3 算出方法・出典等			
			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	3,191	3,741	550件増	3,292	過去5年間の最高値（平成29年度）	113.6%
	全国順位	中長期目標				備考 (参考：過去5年の相談件数) 平成26年度：3,092件 平成27年度：2,758件 平成28年度：2,743件 平成29年度：3,292件 平成30年度：3,191件
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			6 基準説明			
			当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：3,292件（平成29年度） 平均値：3,015件 最低値：2,743件（平成28年度）			
7 評価結果						
平成30		令和元		令和2		
a		b		a		